

罰は弱者の 不幸を生む



東郷 潤

ほとんどの人は何かしら違法行為をした
ことがあります、見つければ受けるであ
ろう罰を逃れて生活をしています。



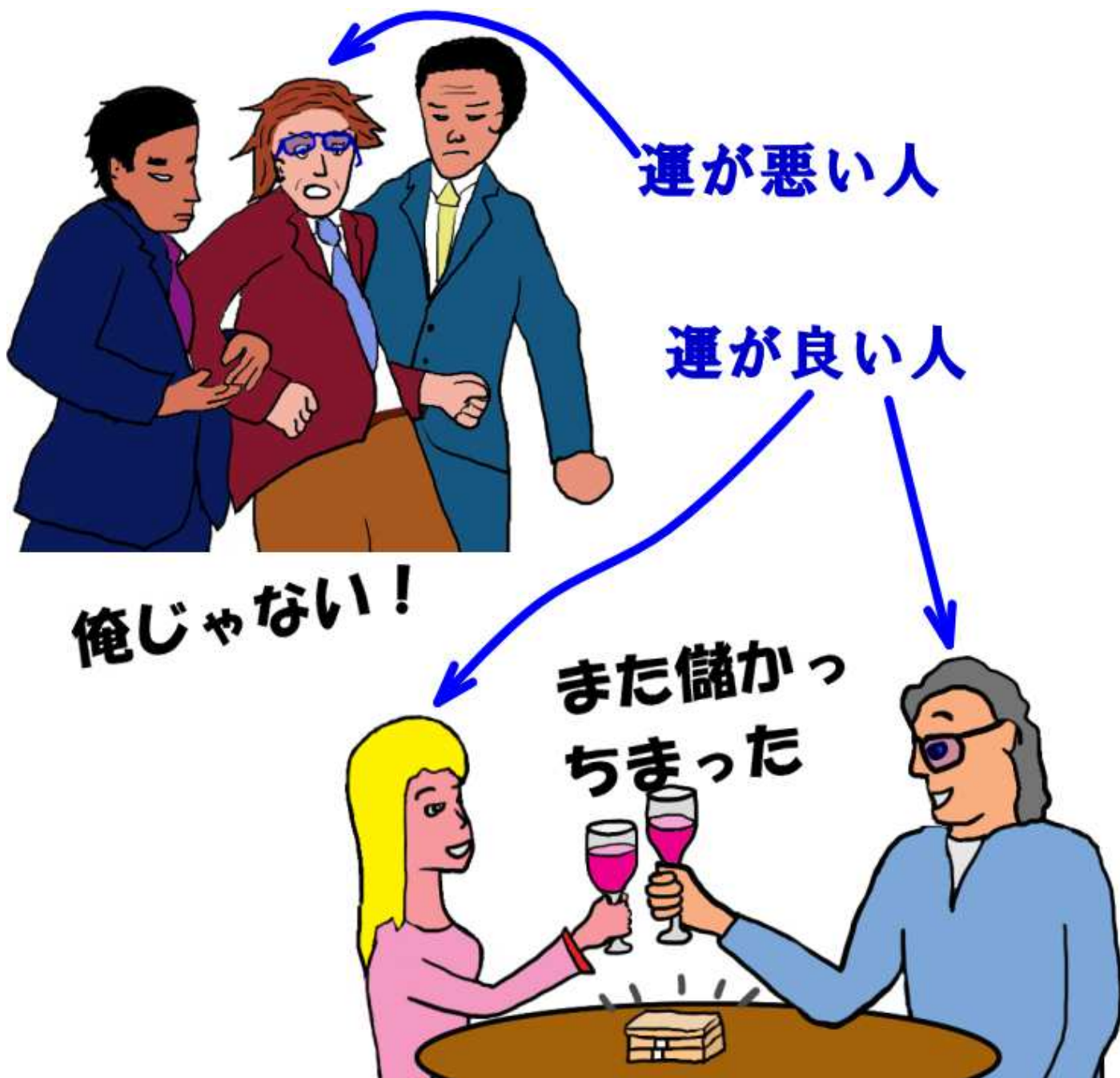
むろん特殊な場合を除いて、罰を受けたい人などいません。そこで罰を避けるために人々は様々な努力をしています。

マスクとサングラス
で顔を隠して、と



その結果、同じことをしても、罰を受ける人と受けない人が出てきます。これは避けることができません。

それはたとえば、どんな場合でしょう？ 運が悪い人は、何もしなくても冤罪で罰せられます。逆に運が良ければ、何をしたらって罰を免れますね。



罰は強者が弱者へ下すものです。当然、強者を罰するのは難しいのです。



完全犯罪をする知力の持ち主も、罰を逃れることができますね。たとえば；

た、大変だ！

**銀行残高が0だ。
ハッキングか？
海外サーバーじゃ、
トレースできないぞ**



こんなのも；

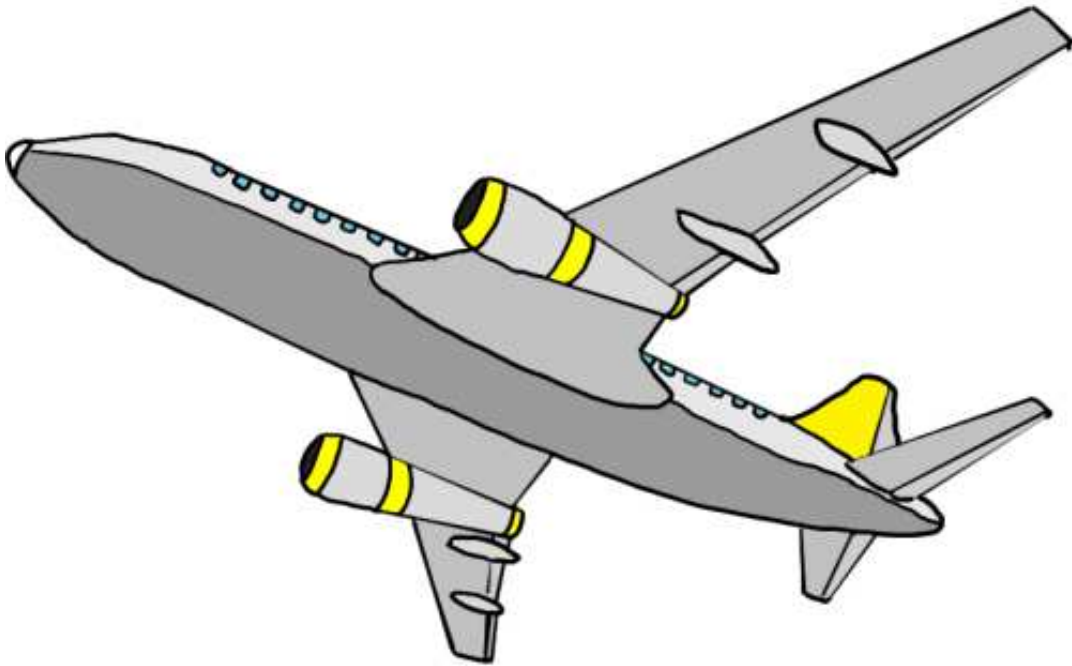
ど、どうやって、
密室で人を殺せ
たんだ？

見当も付きませんね

仕方がない。
自殺で処理するぞ



法律の抜け穴について、罰を逃れる人もいるでしょう。たとえば；



く、くそ～！

外交官を麻薬の
運び屋に使うとは！

こんなのも；

さすが兄貴！

死体を始末すれば、
ただの行方不明だ



身代わりを立てて、罰を逃れる人もいますね。

秘書の私が独断でやった
ことです。大臣は無実です。
これから警察に自首します。



相対的な話ではありますが、いつだって；

罰を受けるのは
戦いに負けた、嘘が下手な、
不運な、弱い人達です。



あとがき

もし、あなたがこの絵本に共感されたなら、他の方にも読ませてあげていただければと思います。

本絵本は、自由にコピーして下さって結構です（商業出版はじめ金銭的な授受を伴う場合を除きます）。また下記WEBからは、東郷潤の他の絵本やメッセージをダウンロードすることが出来ます。

www.j15.org

©Jun Togo 2017